





種松山公園の『八重の梅』

特集

・プレイバック特別公開医療介護講座・特別企画(応用編) 「慢性腎臓病はどうして悪くなるのか」(中編)

- □「第6回院内発表会」
 - ◎「地域を支える医療を目指して一今、私たちにできること─」
- □「クリスマスコンサート」

◎地域医療連携室発



- □ ようこそ!!オープンギャラリー
 - ◎「癒しの空間」へ
- □ 食材の底力

◎ネギ

□ 外来診療予定表(2月)

◎当番医のお知らせ







特集

プレイバック特別公開医療介護講座

特別企画(応用編)

「慢性腎臓病はどうして悪くなるのか」(中編)

講師:児島中央病院院長 田邉秀幸

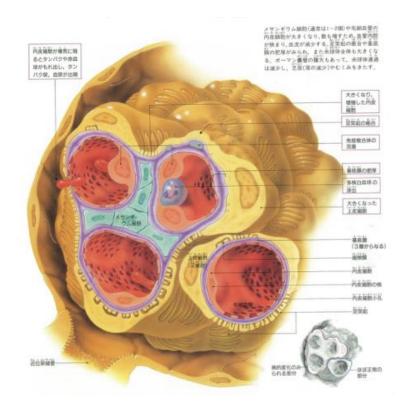
(vii) 腎炎の種類と予後

急性腎炎と慢性腎炎との最も大きな違いは、急性腎炎では多くの場合、多少の跡を残すことはあっても治ることです。 これに対し慢性腎炎では、程度の違いはあるにせよ、病気の勢いが完全に治まりきることは少なく、だらだらと続きま す。進行すると、ついには腎臓の働きが廃絶し、透析療法が必要になります。

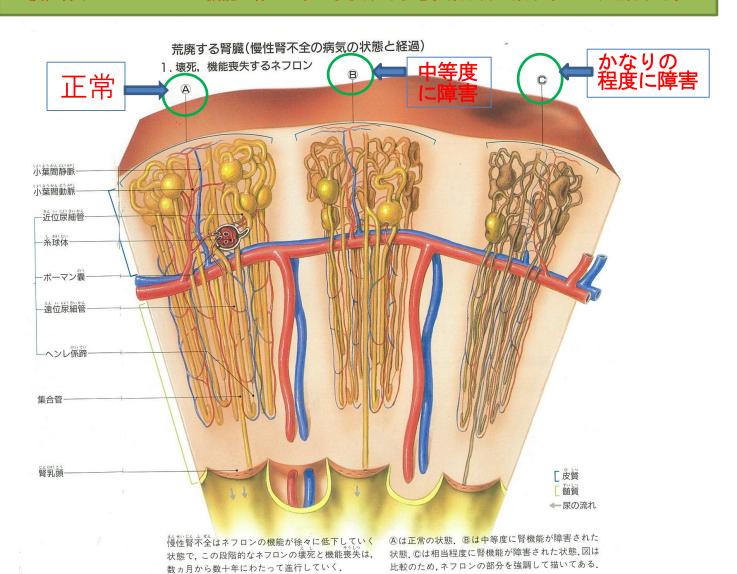
慢性腎炎の予後は組織型により異なります。腎生検により確定し、腎炎の勢いの強さ(活動性)などが判定されます。ここに組織型分類とその特徴を挙げておきます。

表 2 原発性糸球体腎炎の組織病型分類とその特徴

| 微小変化群 | 急に起こる大量のたんぱく尿で発症し、ネフローゼ症候群をきたします。ス テロイドに対する反応は良好ですが、ときに頻回に再発します。 |
|---|---|
| 巣状糸球体硬化症 | しばしば、大量のたんぱく尿がみられ、ネフローゼ症候群をきたし、進行性 の腎障害を認めます。ステロイドの反応性はあまりよくありません。 |
| メサンギウム増殖 性糸球体腎炎 (IgA 腎症、非 IgA 腎症) | 血尿やたんぱく尿のみが持続し、数年間の緩慢な経過をたどります。初期に は高血圧や腎機能の低下を認めませんが、病変の強い場合は、進行性に腎障 害が進行し、腎不全に陥ります。 |
| 膜性腎症 | 大量のたんぱく尿によりネフローゼ症候群をきたすことが多いです。たんぱく尿の出現や回復を繰り返しながら、長い経過をたどることが多いですが、 腎不全への移行は少ないです。ステロイドの反応性は緩徐。 |
| 管内增殖性糸球体 腎炎 | 急性腎炎に認められる組織病型です。多くの場合、多少の障害は残ることは ありますが、治りきってしまいます。 |
| 半月体形成性糸球 体腎炎 | 臨床症状として急速進行性糸球体腎炎を呈することが多く、急速に腎機能が 低下するため、早期からステロイドパルス療法や血漿交換などの積極的な治 療が併用されます。 |
| 膜性増殖性糸球体 腎炎 | しばしば、ネフロ―ゼ症候群をきたします。ステロイドなどの反応性は良好ではなく、一般に、慢性、進行性の経過をたどり、腎不全に移行することが多いです。 |
| 硬化性糸球体腎炎 | 糸球体障害が進行し、糸球体病変の硬化(糸球体の目詰まりを起こした状態) の程度の強い、一種の終末像に近いものです。予後は不良です。 |



慢性腎不全はネフロンの機能が徐々に低下喪失する状態。数ヶ月~数十年に亘り進行する。



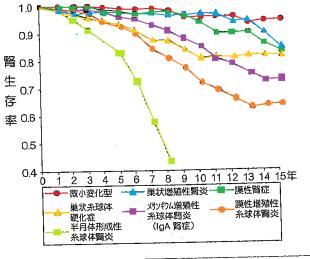


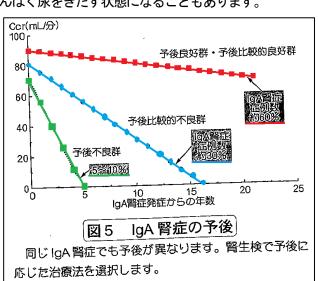
図 4 原発性糸球体疾患の各病型別の腎生存率 (厚生省特定疾患調査研究班, 1986)

腎炎には進行性で予後の悪い型とあまり悪くならない予後 良好な型の腎炎があります。 慢性腎炎の予後は組織型により異なります(図4)。 腎生検は組織病型の確定に加え、糸球体などの病変の強さから腎炎の勢いの強さ(活動性)などが判定されることから、腎炎の治療法の選択や予後の推定に有用なのです。

—IgA 腎症—

IgA 腎症は、我が国にたいへん多く、原発性の糸球体疾患の約40%を占めています。この病気は、腎生検で取り出した腎臓の小さな組織を薄く切り、蛍光抗体法という検査を行うと、糸球体のメサンギウムという場所に免疫グロブリン(IgA)がくっついているのが特徴です。IgA 型の免疫複合体が腎臓の組織にくっつくと、メサンギウム細胞が増殖し、いろいろな因子によって炎症が進んでいきます。

症状としては、目にみえない程度の血尿(顕微鏡的血尿)が特徴です。ときに、かぜなどのあとに、肉眼的な血尿が認められます。病気が進行しますと、軽いたんぱく尿がみられるようになり、ネフローゼ症候群といわれるような大量のたんぱく尿をきたす状態になることもあります。





予後としては、この病気の多くは 10~20 歳代で発症し、20 年を経てその 40%が末期腎不全になると考えられます。ですから、腎症の治療の要点は、腎病変の進行・悪化を抑え、いかにして腎不全への移行を阻止するかにあります。最近、扁桃摘出術とステロイドパルス療法の併用が有効な治療法として注目されています。

例えば、IgA 腎症の予後は人により異なっています(図5)。 約30%の患者さんは15~20年の長期の経過で、5~10%の 患者さんは約5年で腎臓の働きを失います。しかし、約60% の患者さんは、ゆっくり進行するか、あるいはほとんど進 行することなく腎臓の働きは一生保ち続けられます。

TOPICS

「第6回院内発表会」

「地域を支える医療を目指して一今、私たちにできること一」

昨年12月19日(土)、平成27年も終わりに近づきあわただしい中、第6回院内発表会を行いました。73名と多数の参加があり、大盛況のうちに無事終了することができました。

今回のテーマ「地域を支える医療を目指して一今、私たちにできること一」に沿い、今回も多くの演題参加となり充実した研修会でした。

第1部は看護師が日々研究している内容を中心に、5題の発表です。活発な討論あり、かなりヒヤッとすることも多少ありましたが、さらに研鑚を積んで結果を出してほしいです。

第2部も5題の発表で、チーム医療・事務系発表など現実に 即したものでした。知っているようで理解できていないこともあ り、この教えは今後も役立つものと思います。

発表のあった演題は、すべてよく分析・検証されていましたが、中でも以下の3題が入賞と決まりました。



①委員長賞 : 『一般病床の看護師の透析患者に対する水分管理と体重管理の認識に関する研究』

(5 階病棟 大屋かづ子)

②看護部長賞 :『回復期リハビリ病棟での抑制の現状把握と抑制廃止の試み』

(6 階病棟 合田裕子)

③事務長賞 :『緩和チームれんげ草活動報告』

(透析センター看護主任 西田かおり)

第3部はICU山中師長による「減災を考える」でした。現在、異常気象や社会異常状態で、地震・テロなど世の中何が起こっ

てもおかしくありません。そんな時「我々は何を優先すればいいのか。」といろんな角度より勉強させていただきました。あってはならないけれど、もしもの時の心積もりができました。

今回は「地域を支える医療を目指して一今私たちにできること 一」と大きなテーマで院内発表を行いました。少し勉強したから といって、それですぐ地域を支えることなどできません。各チーム・各部署で思う事・感じる事を話し合い、知恵を出し合い、そ の上で病院全体としてよい方向に行動していくことが必要と思います。「地域の人がいるから私達は頑張れる」と思った時、今 日の発表会が一助となれば幸いです。

皆様方のご理解と熱意により、よい研修会ができました。これからも「皆様に愛される児島中央病院でありたい。」と思います。 職員一同頑張りますので、今後ともご指導ご鞭撻いただければ幸いです。 (第6回院内発表会実行委員長 宮本善文)



第6回院内発表会 地域を支える医療を目指して 一今、私たちにできること一 時: 平成 27 年 12 月 19 日 (土) 13 時 15 分~17 時 所:児島中央病院 多目的ホール (2階) 会:13時15分~ 開会あいさつ 院内発表会実行委員長 宮本善文(外科医長) 13 時 20 分~14 時 10 分 座長 松本望 大西恵子 (看護師) 1席 ICUにおけるカーテン使用・患者のプライバシーに関する看護師の意識調査 2 階病棟 大月美奈子 障害者病棟に入院する患者の家族と看護師の看護に対する満足度の比較 3階病棟 中塚昭子 3席 一般病棟の看護師の透析患者に対する水分管理と体重管理の認識に関する研究 5 階病棟 大屋かづ子 4席 回復期リハビリテーション病棟での抑制の現状把握と抑制廃止の試み 6 階病棟 合田裕子 5席 家族が感じた終末期 (インタビューから看取りへの支援を考える) 在宅診療担当室 平川智子 14時10分~15時10分 座長 片沼淑宏 (臨床検査技師) 第2部 看護主任 西田かおり 2席 忘れられない私の経験した2つの症例 ②ソケイヘルニア根治手術直後に経験したたこつぼ型心筋症の一例 外科医長 宫本善文 3席 NST活動報告-効果的な栄養補助食品の提供への取り組み-栄養科 槌谷佳菜子 4席 当院における透析用カテーテル留置日数の検討と考察 5席 入院料の現状について~改定に向けて~ 医事課 羽原雄仁 川口裕志 15時10分~15時30分 15 時 30 分~16 時 30 分 座長 平田幸代 (看護部長代行) ICII 看護師長 山中昌子 識評 16 時 30 分~ 田邉秀幸 (院長) 16時40分~ 閉会あいさつ 16時50分~ 山田達也(事務長)

「クリスマスコンサート」

12月12日(土)午後2時から、当院多目的ホールにおいて第8回クリスマスコンサートを開催いたしました。入院患者様、ご家族様はじめ、病院関係者ら総勢79名の方々にお越しいただき大盛況のうちに終演いたしました。

例年クリスマスコンサートを共同企画いただいている、チェリストの石川理恵子さん、ヴァイオリニストの假谷ますみさん、フルートの小池かほるさんの3名によるアンサンブルでした。





一度は聞いたことのある、オー・シャンゼリゼやトルコ行進曲をクリスマス風にアレンジされ、会場全体に心地よい生演奏の音色が響きわたりました。オーラスでは「ふるさと」と「上を向いて歩こう」を会場全員が手拍子で大合唱。参加された方からは「やはり生の音はいいね。」との声も聴かれました。

ご来場の皆様も一足早いクリスマスを感じていただけたのではないでしょうか。

そして今回のように感動的なコンサートが 行えたのも、ボランティアの皆様をはじめ、関 係者の方々にご尽力いただいたおかげと感謝 しております。

次回は来春頃にスプリングコンサートを企 画しておりますので、皆様お誘い合わせの上、 是非ご参加くださいますよう、お待ちいたして おります。

(地域医療連携室 友定愛)



ようこそ!! オープンギャラリー「癒しの空間」へ

今回の「癒しの空間」は石原保恵様教室生の方々による「和紙ちぎり絵」です。参加者の皆様は当病院をご利用されておられることもあり、出展をとても喜ばれています。ぜひご覧いただければと思います。

(外来スタッフ一同)















食物の底力

~ネギ~

独特の刺激臭と辛みがあり、消化液を分泌し、食欲を促進するほか、臭み消しや体を温める効果もあります。緑の部分にはカロチンが多く含まれており、ビタミン B1、B2 も豊富に含まれていることが特徴です。ネギは薬味に使用するだけではなく、冬には甘味が増し、鍋料理にぴったりです。 〈栄養管理科〉



外来診療予定表(2月)

| 診療科 | 診療時間 | | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 土曜日 |
|----------------------|----------------|-------------|-----------------------------------|---|-----------------------------------|----------------------|--------------------------------|------------------------|
| 午前 内科 午後 夜診 | <i>/</i> r ±4: | ☆ | 山本真也 | 井関裕義 | 大貫敬三 | 鏡原康介 | 大貫敬三 | 井関裕義 |
| | 十削 | * | 木村泰彦 | 井原章裕 (9;00~12:00) | 井関裕義 | 井原章裕 (9;00~12:00) | 山本真也 | |
| | 午後 | ☆ | 鏡原康介 | 木村泰彦 | 山本真也 | 木村泰彦 | 井原章裕 | |
| | 夜診 | 18:00~20:00 | 内科系医師 | 内科系医師 | 内科系医師 | 内科系医師 | 内科系医師 | |
| 糖尿病外来 | 午前 | ☆ | | | | | | 中山富雄 |
| | 午後 | ☆ | | | | | 内科と併診 | 中山富雄 |
| 呼吸器内科 | 午前 | ☆ | | 阿部公亮 | | 池田征樹 | | 非常勤医師 |
| 胃腸内科 | 午前 | ☆ | 大貫敬三 | 16:30 受付終了 | | | | |
| ※① 循環器内科 | 午前 | ☆ | 古山輝将 | 10.30 受刊終了 | 鏡原康介 | 福原健三 | 玉田智子 | 第 1 • 4 循環器内科医師 |
| | 午後 | ☆ | 古山輝将 | | 鏡原康介 | 福原健三 | 9:00~ | |
| 総合診(内科系) | 午前 | * | | | | 古谷保 | | |
| | 午前 | ☆ | 中島英和 | 中島英和 | 中島英和 | 中島英和 | 中島英和 | 中島英和 |
| 小児科 | 午後 | 13:30~14:30 | ^{予防接種} アレルギー 乳幼児健診 | 0 | ^{予防接種} アレルギー 乳幼児健診 | | 予防接種 アレルギー 乳 幼児健診 | 予防接種 アレルギー 乳幼児健診 |
| | 午後夜診 | 15:30~20:00 | 中島英和 | | 中島英和 | | 中島英和 | 中島英和 14:30~17:00 |
| 外科 | | ☆ | 宮本善文 | 院長 田邉秀幸 | 院長 田邉秀幸 | 宮本善文 | 宮本善文 | 院長 田邉秀幸 |
| | 午前 | 9:30~12:00 | | | 8 : 3 | 0~10:00 | 第2・第4岡崎 (下肢静脈瘤) | |
| | 夜診 | 18:00~20:00 | 院長 田邉秀幸 | 院長 田邉秀幸 | 院長 田邉秀幸 | 院長 田邉秀幸 | 外科系医師 | |
| ※② 整形外科 | 午前 | ☆ | 加川明彦 | | 加川明彦 | | 加川明彦 | 加川明彦 |
| | 午後 | 13:30~16:30 | 加川明彦 | 渡邊良 | 加川明彦 | | 加川明彦 | |
| 脳神経外科 脳卒中科 | 午前 | * | 木村知一郎 | 木村知一郎 | 木村知一郎 | | 木村知一郎_ | |
| 脳卒中科 | 午前 | 9:00~11:30 | | 8:3 | 0~10:00 | 植村順一 | | 第3金8:30~10:00 |
| 耳鼻 いんこう科 | 午前 | ☆ | 東川康彦 | 東川康彦 | 東川康彦 | 東川康彦 | 東川康彦 | |
| | 午後 | 14:30~17:00 | 東川康彦 | | | 東川康彦 | 東川康彦 | |
| 形成 美容外科 | 午後 | 14:00~17:00 | | | | | | 第1・3宗内巌 |
| 皮膚科 | 午前 | 9:30~12:00 | 桑原千晶 | | | | | |
| | 午後 | 14:00~16:30 | | | | | 越智安奈 | |
| 泌尿器科 | 午前 | 10:00~12:00 | | | | 第3 | 木 14:00~16:00 | 非常勤医師 |
| 婦人科 | 午後 | 15:00~17:00 | | | | 第1・3・4 | | |
| 放射線科 | 午前 | ☆ | | | 小國達郎 | 小國達郎 | | |
| カスタナのドゴイ | 午後 | ☆ | | | 小國達郎 | 小國達郎 | | |
| ※③ 歯科 | 午前 | ☆ | 山本・猿山 | 目崎・猿山 | 猿山・米満 | 目崎・猿山 | 目崎・仲田 | 目崎・猿山 |
| | L 11 | | 山本・猿山 | 目崎・猿山 | 目崎・米満 | 山本・猿山 | 目崎・仲田 | 目崎満津子 |
| | 午後 | ☆ | 四个 汲田 | - · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | | | | |
| 歯科口腔外科 | 夜診 | 18:00~20:00 | 猿山雅典 | | 目崎満津子 | | 目崎満津子 | |
| | | | | 藤井守 | 目崎満津子 小國達郎 | 小國達郎婦人科健診 | 目崎満津子 東良平 | 佐藤暢 |

※①…循環器内科は月・水・木・金・第1土曜日は予約制となります。

※②…整形外科の診療(午後診) は手術のため、急遽休診となる場合があります。

※③…歯科の受付時間は各日ともに診療終了時刻の1時間前となります。

◎……予防接種・乳幼児健診・アレルギー・検査日(13:30~17:00)

☆·····午前 8:30~12:00 午後 13:30~17:00

当番医のお知らせ

2月21日(日)は、地区の当番医です。

児島中央病院だより Vol.110

平成28 年2 月1 日発行 (毎月発行) 発行責任者 田邉 秀幸 編集責任者 山田 達也

一般財団法人仁厚医学研究所児島中央病院 倉敷市児島小川町3685 番地 代表 (086) 472-1611 FAX (086)474-3148 地域医療連携室

TEL (086) 473–7815 FAX (086) 473–7816 http://www.kojimach.or.jp